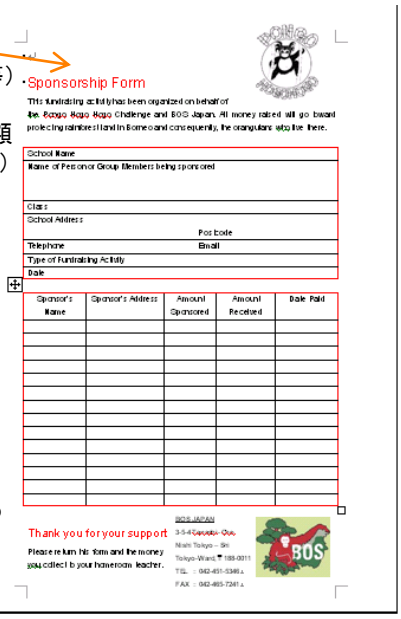
ファンドレイジング – 募金活動フォームの使い方

個人、クラス、部活、あるいは学校全体で、独自の募金活動を行うことは、ポンゴを救うための
すばらしい第一歩です。以下の説明は、チャレンジを計画する手順と、募金活動フォームの
使用方法を示しています。

1. 自分が興味のあるチャレンジを考えましょう。**※ 始める前に必ず学校、両親の了解を得ること**
   (例：TVを１週間我慢する、一時間でどれだけの距離を泳げるかチャレンジする、
   テニスの試合でエースが何本とれるかチャレンジする)

2. 募金活動フォームをコピーしましょう(右参照)



Sponsorship Form

This fundraising activity has been organized on behalf of the Bango Bago Bago Challenge and BOS Japan. All money raised will go toward protecting rainforest land in Borneo and consequently, the orangutans who live there.

School Name
Name of Person or Group Members being sponsored
Class
School Address
Post Code
Telephone
Email
Type of Fundraising Activity
Date

Sponsor's Name	Sponsor's Address	Amount Sponsored	Amount Received	Date Paid

Thank you for your support

Please return this form and the money collect to your homeroom teacher.

BOS JAPAN
3-3-4 Higashi-Ota,
Nishi Tokyo – Shi
Tokyo-Ward, 〒188-0011
TEL : 042-451-5346
FAX : 042-465-7241

3. あなたのチャレンジのスポンサーになってくれる人（両親、先生、お隣さん等）を探しましょう。スポンサー金額の設定方法は大きく２通りあります。
   ① チャレンジをやり遂げることが出来たら、あらかじめ定めたスポンサー金額を寄付してもらう方法（TVを一週間我慢したら千円の寄付がもらえる、等）
   ② あなたのチャレンジの出来具合に対して寄付金がカウントされる方法。
   (一キロ泳ぐ毎に１００円、テストで１問正解するごとに１０円等
   あなたのパフォーマンスによってより多くの寄付を集めることが出来ます)

4. 募金活動フォームにスポンサーの名前、住所、あらかじめ定められた
   スポンサー金額を記入しましょう。(あとで分かり易いように明確に！)

5. さあ、いよいよあなたのチャレンジを始めましょう。
   写真を撮る、先生や大人の方のサインを頂くなどして、チャレンジをきちんと
   終了したことを証明しましょう。

6. スポンサーを訪れ、あなたがきちんとチャレンジをやり遂げたことを証明する
   ものを見せ、あらかじめ定められたスポンサー金額を受け取りましょう。

7. スポンサー金額を受け取ったら、募金活動フォームに書かれている
   金額と一致するかどうかを必ず確認しましょう。

8. 募金活動フォームと、集めた寄付金額をあなたの先生に渡しましょう。

9. あなた自身、もしくは先生が、あなたの集めた寄付金額をポンゴホゴホゴチャレンジ口座へ入金します。

10. あなた自身、もしくは先生が、BOS JAPANへスポンサーシップフォームをFAXまたは郵送で送ったら、
    あなたのチャレンジは完了です。

募金活動に参加してくれた生徒のために、BOS Japanがボランティア活動証明書を発行してくれます。
これは大学進学や、就職活動にも大変役立つツールとなりますのでぜひご活用ください。
この証明書を希望する生徒は、必ず証明書を希望しますか？の欄の「はい」にまるをつけて下さい。

重要事項

＊チャレンジを実行するまえに、必ず両親、先生、学校の許可をもらうこと
＊ あなたがどんな理由でこのチャレンジを行うのかを、スポンサーになってくれる人へ明確に伝えること。
＊チャレンジはあくまでも安全第一にすること！
スポンサーはあなたの信頼のおける知り合いに限定し、知らない人からスポンサーシップは受けないこと。
＊チャレンジ中は可能な限り写真をたくさんとりましょう。
学校や新聞、あなたのチャレンジに興味持つ人がたくさん出てくるかもしれません。。

そして一番大切なこと…楽しんでチャレンジしてください！

みんなで力を合わせれば,”この問題”に対する
生徒達の”出来ない”は”出来る” に変わります

BOS日本はこのチャレンジを応援しています